



第8期報告書

平成20年12月1日から平成21年11月30日まで

株式会社サーラコーポレーション

証券コード:2734

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループ
にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第8期（平成20年12月1日から平成21年11月30日まで）
の概況及び今後の施策についてご報告申し上げます。

通期業績

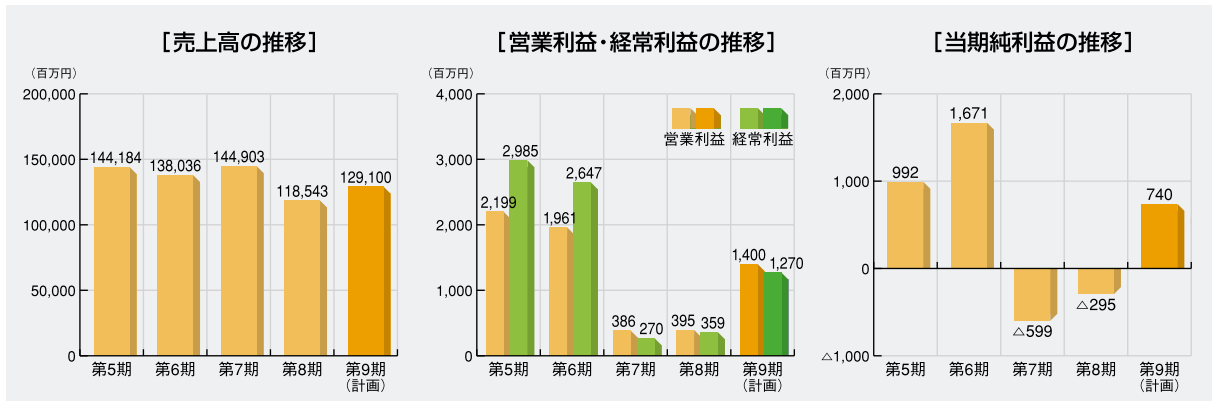
当期の業績は、自動車産業を中心とした生産設備の稼動
低下、設備投資の抑制などの影響を各事業セグメントで受
けました。

この結果、売上高につきましては、118,543百万円（前期比18.2%減）となりました。主たる
要因は、主力のエネルギーサプライ&ソリューション事業におけるエネルギー需要の減退に伴
うLPガス・石油製品の販売数量の減少、及びエンジニアリング&メンテナンス事業における企
業向け設備関連の売上の減少であります。また、ホスピタリティ事業では、ホテルアークリッシュ
豊橋の通年稼動に伴う増収がありましたが、法人需要の減少、個人消費の冷え込みなど厳しい経
営環境にあり、当初の見通しを下回りました。

利益面では、原油価格の下落に伴うLPガス・石油製品の仕入価格の低下などが寄与し、売上
原価が減少して、売上総利益は28,129百万円（前期比2.2%増）となりました。販売費及び一般
管理費は、年間を通じて効率化、削減に努めましたが、年金資産の減少に伴う退職給付費用が
543百万円増加、またコクラフロントをはじめとする減価償却費が463百万円増加したことな
どにより27,734百万円（前期比2.2%増）となりました。以上により、営業利益395百万円（前
期比2.3%増）、経常利益359百万円（前期比32.6%増）となりました。

保有株式の時価評価に伴う投資有価証券評価損167百万円の計上に加え、「棚卸資産の評価に
関する会計基準」の適用によるたな卸資産評価損139百万円を計上したことなどにより、当期純
損失は295百万円（前期は当期純損失599百万円）となりました。





経営環境の変化に対し、迅速な対応による収益力の回復

当社グループを取り巻く経営環境は、景気の影響にとどまらず、世の中の成熟化、グローバル化、情報化社会の進展など、大きな社会構造の変革に直面しております。

このような状況のなか、当社グループは、各事業セグメントにおいて、一層のコスト削減に取り組むとともに、将来を見据えた事業構造の見直しを行い、マーケットをとらえた事業展開を推進します。これにより経営資源の再配分、発展余地のある既存事業と新規事業への積極投入により、収益基盤の一層の強化に努めてまいります。また、お客さまとのふれ合いに重きを置き、サーラプラザの展開により、毎日の暮らしを演出するさまざまな商品・サービスを開拓、提供してまいります。なかでも、高齢化社会や、環境問題に対応した商品の開発、提案は私たちの大きなテーマであります。

当社グループは、これらの施策に全力で取り組むことにより、激変する経営環境の変化を前向きにとらえ、大きくプラスに変えることで、社会に貢献し続けていけるものと確信しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

神谷 啓

事業セグメント別の概況

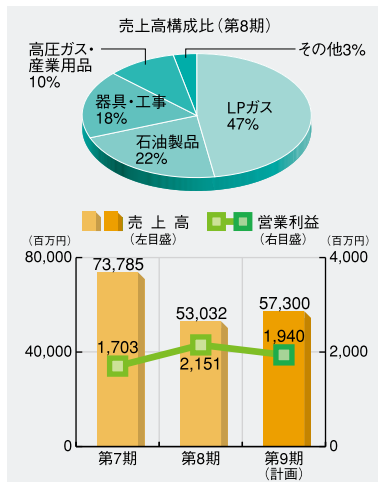
エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高 53,032百万円（前期比28.1%減）
営業利益 2,151百万円（前期比26.4%増）

LPガス・石油製品等の販売が製造業における生産調整の影響により低調に推移したこと、並びに販売先の見直しに取り組んだことなどにより、総販売数量はLPガス210千t（前期比85.7%）、石油製品147千kl（前期比84.7%）とそれぞれ減少しました。また、原油価格の下落に伴いLPガス・石油製品の販売価格の改定を行ったことにより売上高は減少しました。一方、営業利益はLPガスにおいて原価管理の徹底をはじめ、利益改善を図る取

組みを行い、収益の確保に向けた施策を継続して強化してきたことなどにより、増加しました。

第9期は、昨年夏に連結子会社化したグッドライフサーラ関東株式会社の業績が、通期に渡り寄与することによる増収を計画しています。また、サーラプラザを最大限に活用したりリフォームの提案をはじめ、新たな生活サポート商材・サービスに取り組むことにより、売上高の増加を見込んでいます。



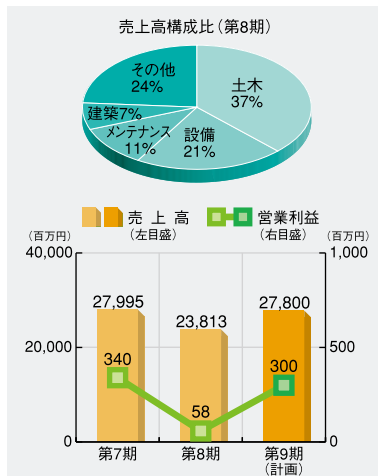
エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高 23,813百万円（前期比14.9%減）
営業利益 58百万円（前期比83.0%減）

受注の確保及び原価管理の徹底に努めましたが、取引先における設備投資の抑制、延期等、計画の見直しによる影響を受けたことなどにより、売上高、営業利益ともに減少しました。

光発電・省エネなど環境・新エネルギー関連の商材について、提案販売・施工・アフターメンテナンスの一貫体制を構築し、お客さまの視点に立った総合的な提案に努めます。

第9期は、景気後退に伴う公共事業の削減、入札方法の変化、デフレの進行など経営環境の激変を受け、収益の確保のため、固定費・外注費・材料費の削減に努めます。また、これまでグループ内で培われた経営資源を最大限に活用し、太陽



カーライフサポート事業

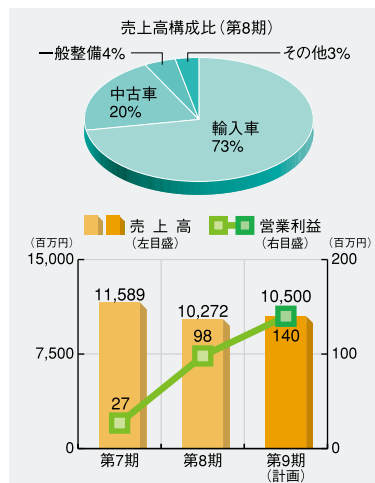
売上高 10,272百万円（前期比11.4%減）
営業利益 98百万円（前期比252.8%増）

不安定な経済情勢を反映し、自動車販売のなかでも特に輸入車販売を取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。また、輸入車販売ではエコカー減税*の対象となる車種の投入も遅れたため、フォルクスワーゲン車、アウトディ車ともに販売台数が前期を下回り、売上高は減少しました。一方、車検・点検などアフターサービスの強化、営業費用の削減、体質改善に着手したことなどにより、営業利益は増加しました。

第9期は、新車販売の市場が縮小する

なか、アフターセールスにおいてお客さまと継続的な関係を築くことによる買い換え需要の創出、予防整備（クリニック）による入庫1台当たりの売上増加などにより、新車販売台数に左右されにくい収益構造への変革に取り組みます。

*エコカー減税（正式名称「環境対応車普及促進税制」）



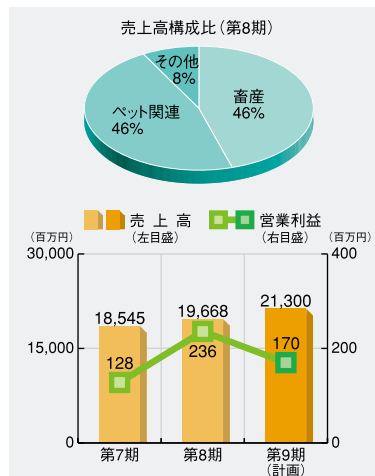
アニマルヘルスケア事業

売上高 19,668百万円（前期比6.1%増）
営業利益 236百万円（前期比83.2%増）

ペット関連分野においては、ペット向け医薬品に加え、療法食の販売が引き続き好調に推移しました。また、前期に開設した関西支店の業績も改善しました。さらに、畜産分野においても動物用医薬品等の販売が堅調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加しました。

今後は、動物病院・ペットオーナーの利便性を高めるため、インターネットを活用した療法食販売における新しいサービスの運用を本格的に展開します。これに伴うシ

ステム関連の先行投資により、第9期は一時的に減益となります。（サービスの概要については、P.11「ペット関連分野の事業強化」をご覧ください）また、ペットビジネスの主要マーケットである首都圏に新たに事業所を開設し、営業を開始することにより事業を拡大します。



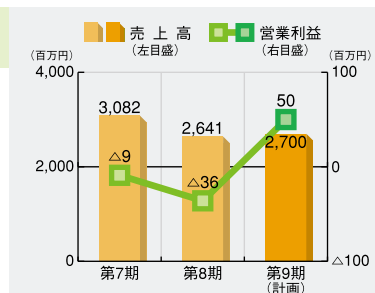
ロジスティクス事業

売上高 2,641百万円 (前期比14.3%減)
営業損失 36百万円 (前期は営業損失9百万円)

サーラおそうじ倶楽部、サーラ引越便、機密書類の出張細断サービスなど地域に密着した生活関連サービスに注力していますが、物流マーケットの縮小に伴う一般貨物輸送量の減少の影響が大きく、売上

高は減少し、営業損失となりました。

第9期は、マーケットサイズに合わせた事業構造の変革に取り組むことにより、生活関連サービス事業へのシフトを一層進めます。



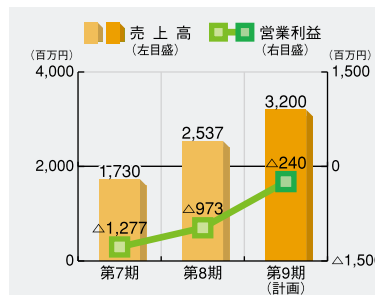
ホスピタリティ事業

売上高 2,537百万円 (前期比46.7%増)
営業損失 973百万円 (前期は営業損失1,277百万円)

平成20年9月に開業したホテルアークリッシュ豊橋の通年稼働に伴い、売上高は増加しました。しかしながら、需要の低迷の影響が大きく宿泊・宴会等の販売活動は低調に推移し、オペレーションの見直しによる効果がみられましたものの、業績は伸び悩み営業損失となりました。

開業から2年目を迎えたホテルアークリッシュ豊橋では、上質かつ魅力的な商品・

サービスの提供、各種イベントの開催、効果的な広報・PRなど地域に根ざした販売活動を行うことによりブランドイメージを高めつつ、売上の確保に努めます。また、さらなるオペレーションの効率化、商品原価管理の徹底等に努め、ローコスト経営実現のための体制構築により計画の達成に努めます。

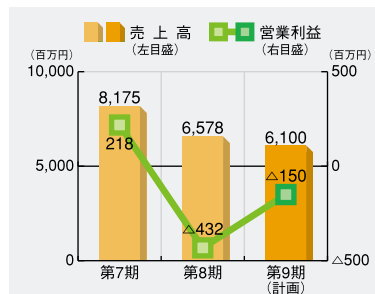


その他の事業

売上高 6,578百万円 (前期比19.5%減)
営業損失 432百万円 (前期は営業利益218百万円)

自動車部品製造事業においては、金融危機を背景に自動車メーカーの大幅な生産調整の影響を受けました。また、ソフトウェア開発事業も、受注先企業における設備投資の大幅な減少による影響を受けました。以上により、売上高は減少し、営業費用の削減に努めましたものの、営業損失となりました。

第9期は、自動車部品製造事業では、人員体制の見直し、内製化率の向上などあらゆる改善努力を継続します。また、ビジネスチャンスを的確にとらえた事業拡大に取り組むことにより、収益を生む企業体質への変革を目指します。ソフトウェア開発事業では、品質管理の徹底、業務体制の見直しにより採算性の向上を図ります。



連結財務諸表

連結貸借対照表

科 目	当 期 (H21.11.30現在)	前 期 (H20.11.30現在)
(資産の部)		
流動資産	35,549	41,142
現金及び預金	9,028	7,099
●受取手形及び売掛金	17,553	23,654
たな卸資産	—	6,867
商品及び製品	3,586	—
仕掛品	1,575	—
原材料及び貯蔵品	137	—
その他	3,667	3,520
固定資産	63,639	60,812
有形固定資産	51,648	50,601
建物及び構築物	18,750	18,949
機械装置及び運搬具	3,116	3,547
導 管	2,859	2,924
土 地	22,611	22,515
建設仮勘定	74	107
その他	4,235	2,556
無形固定資産	3,533	1,674
投資その他の資産	8,458	8,536
投資有価証券	3,383	3,883
繰延税金資産	2,142	2,014
その他	2,932	2,638
資産合計	99,188	101,954

●受取手形及び売掛金

売上債権の回収、売上高の減少などにより6,100百万円減少しました。

単位：百万円

科 目	当 期 (H21.11.30現在)	前 期 (H20.11.30現在)
(負債の部)		
流動負債	44,868	51,996
●支払手形及び買掛金	14,396	18,855
短期借入金	19,105	14,890
●1年内償還予定の社債	—	3,950
1年内償還予定の長期借入金	2,602	4,320
賞与引当金	1,270	1,263
その他	7,493	8,716
固定負債	27,722	22,488
長期借入金	18,181	15,979
退職給付引当金	5,323	4,779
その他	4,217	1,730
負債合計	72,591	74,484
(純資産の部)		
株主資本	25,341	26,164
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	9,242	9,925
自己株式	△ 945	△ 804
評価・換算差額等	115	93
その他有価証券評価差額金	115	93
少数株主持分	1,140	1,211
純資産合計	26,597	27,470
負債純資産合計	99,188	101,954

●支払手形及び買掛金

支払債務の支払、仕入高の減少などにより4,458百万円減少しました。

●1年内償還予定の社債

償還により3,950百万円減少しました。

連結損益計算書 単位：百万円

科 目	当 期 (自H20.12.1 至H21.11.30)	前 期 (自H19.12.1 至H20.11.30)
売上高	118,543	144,903
売上原価	90,413	117,375
売上総利益	28,129	27,528
販売費及び一般管理費	27,734	27,141
営業利益	395	386
営業外収益	520	497
営業外費用	557	613
経常利益	359	270
特別利益	123	530
特別損失	527	891
税金等調整前当期純損失(△)	△ 44	△ 89
法人税、住民税及び事業税	441	313
法人税等調整額	△ 128	327
少数株主損失(△)	△ 62	△ 132
当期純損失(△)	△ 295	△ 599

連結財務諸表

■営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少額6,588百万円、減価償却費3,737百万円、たな卸資産の減少額1,693百万円などの増加要因と、仕入債務の減少額4,736百万円などの減少要因により、8,831百万円（前期比393.2%増加）となりました。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出4,563百万円、無形固定資産の取得による支出2,269百万円などにより、7,056百万円（前期比22.1%支出の減少）となりました。

■財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増額による収入4,214百万円、長期借入による収入4,984百万円などの増加要因と、長期借入金の返済による支出4,500百万円、社債の償還による支出3,950百万円、配当金の支払による支出387百万円などの減少要因により、153百万円（前期比97.4%減少）となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当 期	前 期
	(自H20.12.1 至H21.11.30)	(自H19.12.1 至H20.11.30)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	8,831	1,790
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,056	△ 9,059
●財務活動によるキャッシュ・フロー	153	5,838
現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	1,929	△ 1,430
現金及び現金同等物の期首残高	7,099	8,530
現金及び現金同等物の期末残高	9,028	7,099

個別財務諸表

貸借対照表

単位：百万円

科 目	当 期	前 期
	(H21.11.30現在)	(H20.11.30現在)
(資産の部)		
流動資産	3,459	5,499
現金及び預金	185	271
未収入金	489	359
関係会社短期貸付金	2,730	4,780
その他の他	54	88
固定資産	28,837	28,840
有形固定資産	4	3
無形固定資産	5	6
投資その他の資産	28,827	28,830
関係会社株式	28,775	28,776
その他の他	52	54
資産合計	32,296	34,340

科 目	当 期	前 期
	(H21.11.30現在)	(H20.11.30現在)
(負債の部)		
流動負債	3,154	5,412
1年内償還予定の社債	—	3,950
短期借入金	1,400	—
関係会社短期借入金	1,400	1,200
未払金	54	61
未払費用	132	127
その他の他	167	72
固定負債	457	60
長期借入金	400	—
その他の他	57	60
負債合計	3,611	5,472
(純資産の部)		
株主資本	28,685	28,868
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	20,608	20,608
利益剰余金	789	832
自己株式	△ 738	△ 597
純資産合計	28,685	28,868
負債純資産合計	32,296	34,340

損益計算書

単位：百万円

科 目	当 期	前 期
	(自H20.12.1 至H21.11.30)	(自H19.12.1 至H20.11.30)
営業収益	1,158	1,210
業務受託料収入	350	361
受取配当金	808	849
一般管理費	1,036	1,055
営業利益	122	154
営業外収益	42	48
営業外費用	6	1
経常利益	158	202
特別利益	—	—
特別損失	1	98
税引前当期純利益	157	104
法人税、住民税及び事業税	△ 192	△ 47
法人税等調整額	2	37
当期純利益	347	114

第8期に実施した主な施策

中部瓦斯株式会社との共通業務の一元化

サーラグループのなかで、ガス体エネルギーを取り扱う中部瓦斯株式会社（本社：愛知県豊橋市、都市ガス事業）と、当社連結子会社で同じくエネルギー事業を営むガステックサービス株式会社は、業務の効率化を目指し、システムの共同開発を進め、平成22年夏に稼動を予定しています。また、サーラガス磐田株式会社における両社のお客さま対応業務の一元化など、一体的なエリア戦略の展開により、高付加価値のサービスの提供に引き続き取り組んでいます。

サーラプラザの展開

総合生活サポート事業として、ガステックサービス株式会社、当社連結子会社でリフォーム事業を営む株式会社リビンググサーラ、並びに中部瓦斯株式会社を中心となり、お客さまとのコミュニケーションを深め、毎日の暮らしを演出するさまざまな商品・サービスを提供する場として、サーラプラザの展開を進めています。平成21年6月に「サーラプラザ知立」を、同年10月にはフラッグシップ店となる「サーラプラザ豊橋」をオープンしました。

サーラプラザ豊橋は、リフォーム事業の拠点として比較展示スペース、実演コーナーを備えたショールーム機能を持つ店舗です。また、アカデミー事業（料理教室、カルチャースクール等）に加え、カフェの設置により地域のお客さまに親しみやすい交流の場として、並びにサーラグループの提供する商品・サービスの総合窓口として運営を行います。

ビジネスサポート事業の展開

ガステックサービス株式会社は、中部瓦斯株式会社などによる天然ガスパイプライン「静浜幹線」の建設（平成24年末完成予定）を見据え、静岡県西部におけるビジネスサポート事業を強化するため、新たに中遠事業所を開設しました。これに

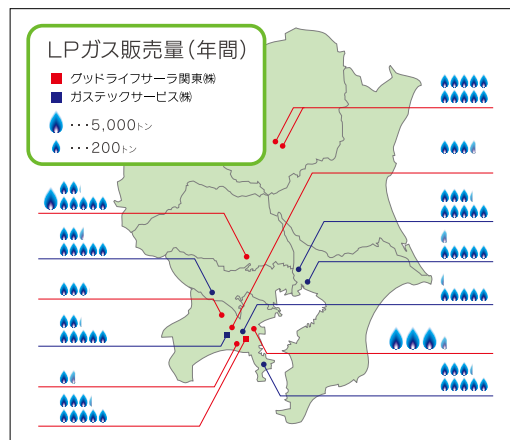
より同地域におけるエネルギーシェアの拡大を図るとともに、ファシリティからメンテナンスまで総合的な提案を行い、お客さまとの継続的な関係を構築し営業基盤を強化します。



静浜幹線

エネルギーサプライ&ソリューション事業の強化

ガステックサービス株式会社は、平成21年7月、神奈川県を中心にLPガス・石油製品の販売事業を営む「グッドライフサーラ関東株式会社」の株式を取得し、子会社化しました。



グッドライフサーラ関東(株) 平成22年9月期の計画値
ガステックサービス(株) 平成21年11月期の実績値

今後、当社グループの既存のお客さまと合わせ、生活関連事業を積極的に展開することにより、神奈川県における事業基盤を一層強固にします。

ココラアベニューの開業

豊橋駅周辺再開発事業の一環として、平成21年11月に複合商業施設「ココラアベニュー」がオープンしました。当社グループは、ココラフロントをはじめとした周辺施設との連携、イベントの共催などを通じて一体感を高めることにより、テナントの集客を図るとともに、駅前から駅南地区のまちの賑わいを創出します。



ココラアベニュー開業

E3（バイオエタノール3%混合ガソリン）の取り扱い開始

平成21年10月、ガステックサービス株式会社は、愛知県豊橋市内のサービスステーション（ガソリンスタンド）において、温

室効果ガスの排出が抑制される「E3」（バイオエタノール3%混合ガソリン）の販売を開始しました。同社は販売に当たり、日伯エタノール株式会社（ブラジル国営石油会社のペトロbrasと日本アルコール販売株式会社が出資）が取り組む環境省委託実証事業「エコ燃料実用化地域システム実証事業」に参加することとなりました。



「E3」ガソリンの特徴

「E3」とは？

植物原料から作られたバイオエタノールをガソリンに約3%混合した自動車燃料です。

環境性

年間のガソリン使用量が1,000ℓの場合、E3に切り替えることにより70kg/年の二酸化炭素排出量の削減効果が得られます。

品質

JIS規格（日本工業規格）及び品質確保法（揮発油等の品質確保に関する法律）で定められたレギュラーガソリンの規格を満たしており、安心してご利用いただけます。



「E3」ガソリンの取り扱い開始

サーラプラザ豊橋オープン

平成21年10月23日、サーラプラザ豊橋が装いを新たにオープンしました。

スタイリッシュなカフェを併設したショールーム、料理教室及びカルチャースクールなどの展開を通じ、お客さまが気軽に立ち寄ることができる場となり、暮らしを快適に、豊かに彩るさまざまな提案を行っています。



サーラプラザ豊橋
www.sala-plaza.jp

■ 住まいのショールーム

お手頃価格のリフォームパッケージを展示し、「サーラのリフォーム」を推進します。また、ガスコンロとIHの調理実演コーナーや浴室暖房・床暖房の体感コーナーなどでは、ガスの実力を体感、納得できるプログラムを毎日実施しています。



■ GREEN CAFE

豊橋・東三河で採れた季節の旬の食材を中心に、自家製メニューをご用意しています。



■ 暮らしときめきアカデミー

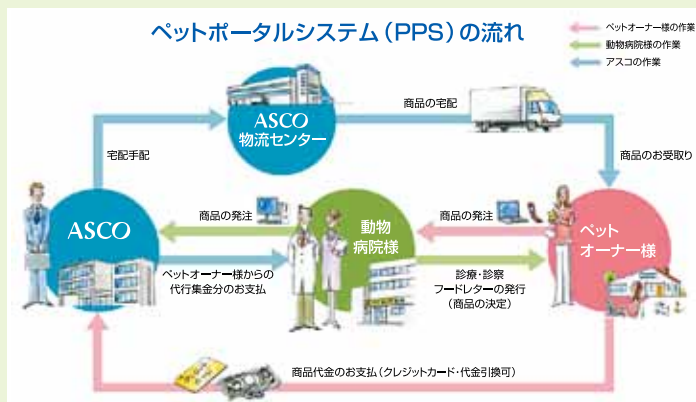
開放的なクッキングスタジオでの料理教室のほか、目的別の4つの専用ルームで多彩なカルチャースクールの講座を開催しています。



www.academy.sala.jp

ペット関連分野の事業強化 〈株式会社アスコ〉

インターネットを通じてペットフードなどの注文ができる商品宅配システム「ペットポータルシステム」を構築し、動物病院さまへの提案を開始しました。動物病院さま、ペットオーナーさまの利便性を高めるこのシステムの普及に努めることにより、ペット関連分野の事業をさらに拡大します。



エコカー減税対象車登場 〈サーラカーズジャパン株式会社〉

国産車に比べ、輸入車はエコカー減税の対象となる車種の導入が遅れていましたが、フォルクスワーゲンではいよいよ初の対象となるNEWゴルフ2車種が登場しました。また、アウディでも平成22年春には対象車が投入される見通しです。国産車同様の取り扱いが開始されることにあわせ、販売活動を一層強化します。



NEWゴルフ Variant TSI Trendline



NEWゴルフ TSI Comfortline

「まちの賑わい」の創出

豊橋駅東口に開業したココラアベニューは、ガステックサービス株式会社を中心となってテナント・オフィスの誘致を進めてきました。周辺施設との連携、さまざまなイベントの共催により、この地域の賑わいを創出していきます。

また、同社は施設の1階にチャイニーズダイニング「シェイシェイ謝謝」をオープンしました。



オープニング記念特別イベント「マイケルジャクソン展」



チャイニーズダイニング「シェイシェイ謝謝」

サーラ品質向上に向けた取り組み

SALA Quality of The Year

サーラグループでは、「お客さま満足度の向上」「お客さまとの信頼関係の強化」「SALAブランドのイメージの向上」などを目指した活動についてグループの全企業、社員一人ひとりからエントリーを募り、優れた取り組みについて毎年表彰を行っています。

この制度を通じて、SALAブランドにふさわしい品質を社員一人ひとりが自ら考え追求し、グループ全体で共有することにより、お客さまに魅力的な品質の商品・サービスを提供していきます。



SALA Quality of The Year

会社の概要・株式の状況

(平成21年11月30日現在)

■商号	株式会社サーラコーポレーション SOLA Corporation		
■設立	平成14年5月1日		
■資本金	80億2,500万円		
■証券取引所	東京証券取引所	市場第一部	
	名古屋証券取引所	市場第一部	
■役員	代表取締役会長	中村捷二	
	代表取締役社長	神野吾郎	
	常務取締役	原田保久	
	取締役	磯村直英	
	取締役	一柳良雄	
	取締役	石黒和義	
	監査役(常勤)	鈴木洋二	
	監査役	山崎康夫	
	監査役	中山正邦	
	監査役	杉井孝	

■グループ従業員数 2,867名

■連結子会社

エネルギーサプライ&ソリューション事業
 ガステックサービス(株)
 三河湾ガスターミナル(株)
 (株)ジーワークス
 (株)日興
 神野オイルセンター(株)
 (株)リビングサーラ
 グッドライフサーラ関東(株)

エンジニアリング&メンテナンス事業
 (株)中部
 神野建設(株)
 中部菱光コンクリート工業(株)
 西遠コンクリート工業(株)
 (株)中部技術サービス
 中設工事(株)
 中部三洋システム(株)

カーライフサポート事業
 サーラカーズジャパン(株)

アニマルヘルスケア事業
 (株)アスコ
 大和医薬品工業(株)

ロジスティクス事業
 サーラ物流(株)

ホスピタリティ事業
 ガステックサービス(株)

その他の事業
 ガステックサービス(株)
 新協技研(株)
 テクノシステム(株)
 中部クレジット販売(株)
 サーラフィナンシャルサービス(株)
 (株)サーラビジネスソリューションズ

■発行可能株式総数 120,000,000株

■発行済株式総数 40,338,708株

■株主数 3,757名

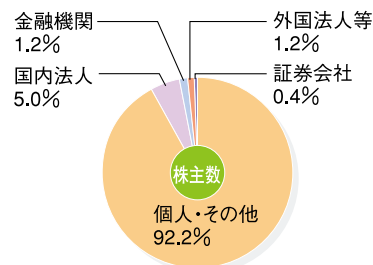
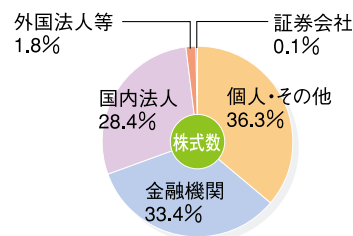
■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中部瓦斯株式会社	5,921	15.20
サーラコーポレーション従業員持株会	1,928	4.95
中部ガス不動産株式会社	1,833	4.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTBエクイティインベストメント株式会社信託口)	1,823	4.68
ガステックサービス共栄会	1,669	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,560	4.00
株式会社静岡銀行	1,495	3.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,493	3.83
株式会社三井住友銀行	1,197	3.07
株式会社みずほ銀行	957	2.45

※当社は自己株式1,401千株を保有していますが、上記大株主から除いています。

※持株比率は自己株式を控除して計算しています。

■所有者別株式分布



株主メモ

【事業年度】

12月1日～翌年11月30日

【定時株主総会】

毎年2月中

【基準日】

定時株主総会の議決権・期末配当 … 11月30日
中間配当 ……………… 5月31日

【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

【株主名簿管理人事務取扱場所】

〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部

【郵便物送付先】

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

【電話照会先】

フリーダイヤル 0120-78-2031

【取次窓口】

中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

【公告方法】

電子公告（当社ホームページに掲載します。）
<http://www.sala.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

【単元株式数】

500株

株主優待のご案内

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

■対象

毎年11月末日現在における500株以上所有の株主

■内容

ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。株主優待券の有効期限は1年間になります。

所有株式数	優待内容
500株以上 5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上 10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上	10,000円分の株主優待券

■ご利用方法

株主優待券は、当社グループのガステックサービス(株)のガス器具、ガンリンスタンドでの給油・洗車、(株)リビングサウラの家具、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、レストランでの飲食などにご利用いただけます。

ご利用店舗が近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただいています。平成22年度の商品の一例をご紹介します。



キッチン飛騨ビール
価格3,500円(送料・税込)
3缶入り



手延べそうめん
価格3,000円(送料・税込)
20食入り



渥美温室メロン
価格5,000円(送料・税込)
1箱2玉入り

生活にファインクオリティ

The logo for SALA, featuring the word "sala" in a white, lowercase, sans-serif font inside a green rectangular box.

〈お問い合わせ先〉

株式会社サーラコーポレーション 総合企画部 広報・IRグループ TEL0532-51-1184